



THE ROTARY CLUB OF MIYOSHI CHUO

三次中央会報 ロータリークラブ

事務所／広島県三次市十日市東 1-16-19
TEL (0824) 64-1245
FAX (0824) 64-1245
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
http://mcrc.server-shared.com

例会場／広島県三次市十日市南 1-10-1
三次グランドホテル

例会日／月曜日 12:30～13:30

2025-2026 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

■本日のプログラム 国際奉仕委員会／ロータリー財団担当
中島委員長卓話

■次回例会日時 2025年12月1日(月) 12:30～

■次回プログラム 総会／次年度役員選出、上半期報告

会長／大井 睦子
幹事／重信 優

■第1476回例会記録

●日時……………2025年11月10日(月)12:30～

●点鐘……………会長

●国歌「君が代」斉唱……………全員

●ソング「我らの生業」……………全員



●2025～2026年度 三次中央RCスローガン
Love and Peace

■開会挨拶……………大井会長

11月は「ロータリー財団月間」です

皆さん、こんにちは。
前回例会は、ガバナー公式訪問とフォーラムでした。発表者の皆さん、それから会員の皆さん、ご協力どうもありがとうございました。
また、先日、11月20日に行われた下関海響マラソンでは、フルマラソンの部に参加した中島会員が4時間47分で完走されました。お疲れ様でした。
本日は、地区大会報告です。石田会員、栗本会員、村竹会員、杉谷会員、山縣会員の5名の皆様、後半のプログラムではよろしく願いいたします。
さて、国際ロータリーにおいて11月は「ロータリー財団月間」と定められています。これは世界中のロータリアンがロータリー財団の意義や活動を改めて理解し、その支援を深めるための期間です。ロータリー財団は1917年、アーチ・C・クランフの提唱によって設立されました。彼は「世界で善を行うための基金」をつくることを提案し、その理念が現在まで受け継がれています。以来、ロータリー財団は教育、保健、人道的支援を通じて、世界各地で平和と希望を育む活動を展開してきました。財団の代表的な取り組みの一つが「ポリオ根絶運動(ポリオプラス)」です。

1985年に始まったこのプログラムは、世界からポリオを完全に根絶することを目指す壮大なプロジェクトであり、世界保健機関(WHO)などと協力して、感染国の数を大幅に減らす成果を上げています。



また、ロータリー財団は奨学金を通じて平和構築のための人材育成にも力を注いでおり、「ロータリー平和センター」では毎年、多くのフェローが国際関係や紛争解決を学んでいます。

さらに、地域社会の発展を支えるための「グローバル補助金」、「地区補助金」などの制度を通じ、衛生、教育、経済支援などの多岐にわたるプロジェクトが世界中で実施されています。これらの活動は、すべて世界中のロータリアンからの寄付によって支えられています。11月のロータリー財団月間は、こうした財団の歩みと成果を振り返り、会員一人ひとりが「世界に善を行う」使命を再確認する大切な時期です。寄付や奉仕を通じて未来への希望をつなぐ、それがロータリー財団月間の意義なのです。

■表彰.....

ロータリー財団年次基金人頭額第3位



永年連続出席35年 沖会員、松本会員

■幹事報告.....重信幹事

- 本日19時より当グランドホテルにおきまして、第5回理事役員会を開催します。
- 来週は夜間例会です。
- もののけミュージアムと、奥田元宋・小由女美術館より特別展の案内が来ていますので回覧いたします。

■出席報告.....中西委員長

●第1475回 10月6日

会員数	33名	Make-up	3名
欠席	3名	出席合計	32名
欠席者のうち規定免除	名	出席率	96.97%

●第1477回 本日の出席は33名中29名です。

■ゴルフ同好会.....山縣会員

恒例の忘年杯を12月11日庄原カントリークラブで開催します。朝9時半集合です。

懇親会は19時よりむらたけ総本家にて行います。会費、出欠については次週回覧します。

■SAA.....圓道SAA

●会員誕生日…杉谷君、阿部君、田丸君、前田君



●会員ニコニコBOXへご出宝

- 杉谷君 誕生日のお祝いありがとうございます。おかげ様で72才無事迎えました。(大口)
- 阿部君 49歳になりました。(大口)
- 田丸君 11月2日47歳になりました。ありがとうございます。(大口)
- 前田君 明日11/11で46歳になります。(大口)
- 井上君 妻にカワイイ花束ありがとうございます。(大口)
- 上田君 10/12、可愛い妻の誕生日でした。(大口)
- 大井君 本日地区大会報告、発表の皆様、よろしくお願ひいたします。
- 重信君 地区大会報告、よろしくお願ひします。
- 平田君 地区大会報告の皆様、ご苦労様です。
- 光永君 地区大会報告される皆様、よろしくお願ひいたします。
- 石田君 地区大会報告します。よろしくお願ひします
- 山縣君 本日は発表します。よろしくお願ひします。
- 池田君 中島さん、マラソン完走おめでとうございます。小根森さん、上田さんもお疲れ様でした。紙芝居も楽しくできました。ありがとうございます。
- 沖 君 永年連続出席35年で、表彰されました。

ニコニコBOX本日出宝額 33,000円

■プログラム《地区大会報告》

地区大会報告

石田光雄

10月19日に行われました地区大会報告をいたします。

昼食会・本会議・記念講演・懇親会はほかに担当者が発表されますので、私は時系列の報告のみいたします。

9時45分サングリーンを出発し、途中福留道の駅にて暫時休憩をとり、11時20分JR西条に信国會員の盛大なお迎えをうけ、到着しました。徒歩5分のところにある仏蘭西屋で昼食をとり、会場入り、記念撮影を行い12時の本会議を迎えました。

本会議も無事終了し14時45分からの辰巳琢郎さんの記念講演を拝聴し、懇親会へと流れて行きました。17時15分懇親会開始。終了後は、さっと帰途につき、無事三次に着きました。道中は大井会長の用意された飲み物で喉を潤し、会話も弾んでバスの中は楽しかったです。



地区大会報告

栗本清秀

担当いたしました記念講演について報告します。

講師は俳優の辰巳琢郎氏で、広島テレビの方との対談形式で行われました。辰巳氏は俳優業の傍ら、日本のワインを愛する会会長、官公庁アドバイザー、近畿大学客員教授、囲碁大使を務められています。

演題は「道草のすすめ」で、同名の書籍を2008年に角川出版より刊行されておりますので、興味のある方はご一読ください。

内容といたしましては、人生はハプニングを歓迎し、楽しむこと。思いついたことにまず一步を踏み出し行動しよう。常識や形式にとらわれず、例えばワインも食事にとらわれず、好みの種類を決めつけずに楽しむ方が良い。やりたいことをやろう。我が儘でいよう。どうせやらないといけないことは楽しんでやろうといったことだとメモしております。

感想といたしましては、演題が「道草のすすめ」だけあって、講師自身が途中で「何の話をしてましたっけ?」と言われるほどの内容が拡散したように感じました。私見ですが、記念講演は講師が一人で思いを



熱く語りかける方が、聴衆の心に響くのではないかと思います。

しかしながらRI 会長代理は所見でこの記念講演を絶賛されておりましたので、私が感じることでできなかったことを高い見識で感じられたのかと思い、感性が磨かれた方の凄さに感銘を受けるとともに、己の未熟さを感じ、感性を磨くよう精進いたしますので、今後ともご指導よろしくお願ひします。

地区大会報告

杉谷優治

二日目の本会議について報告します。

登録者数が1,600名、参加者は1,400数名ということでした。大ホールと小ホールの二つでした。グループ9~12

までが小ホールに設定され、大型スクリーンで大ホールの状況を観覧しました。

ガバナー挨拶、RI会長代理挨拶、新クラブ紹介(広島新世代RC)、記念講演、そしてガバナーエレクト、ノミニーの紹介があり、小根森ノミニーも登壇され、大きな拍手を頂きました。

そして次年度地区大会の案内を宇部ロータリーの実行委員会がされ、16時45分に閉会となりました。

久しぶりに地区大会に参加しましたが、今回印象に残っているのが3点ほどありました

- 1.土井ガバナーが感極まって言葉に詰まったこと
- 2.RI会長代理が持ち時間をオーバーして熱弁しました

これらは初めて経験しました。

- 3.PPで、希望と再生の両面を問うのが広島で、ロータリーの原点、未来を結ぶ省庁になりますということに感動しました。

今回、24名が参加でした。次回地区大会は、多数参加いただきたいと思ひます。



地区大会報告

山縣 隆



懇親会について報告します。

まず全体では東広島で開催された会員3,000人以上いる中で、1,618人が登録し、1,400人くらいが参加でした。2年後に村竹さんと一緒に担当するというので、主に会場や配置料理内容屋台提供方法、アトラクションを重視してみました。

会場は駅前賑わい広場で、照明付きでテントがあり、酒祭りのまま設置ではなく改めて設置したということでした。雨も降りましたが無事にしのげました。挨拶やアトラクションのステージもスポットライト照明がありステージが別にありました。大型テントを小型テントが囲って、飲み物コーナーやお土産、お好み焼き等のフードブースがありました。大型テントはグループごとに配置、来賓は8テーブル、その他は立食で64テーブルでした。16.5人が1テーブル当たりの割り振りです。実際は12～13名でした。コンパニオンもいないので、栓抜き等は多めに用意してありました。

ビール、ノンアルコール等は最初にありましたが、その後はケースごと配置していました。それ以外は両サイドのテントでの対応でした。

料理はオードブル、カツサンド、ケーキなどが1テーブルに10人前ずつ配置されており、計算すると登録者数の60%の料理となりますが、周りにあるフードコートで不足分を賄っていると感じました。周辺の飲食店もありますので、途中で抜け出して店にいかれた方もいました。

懇親会は、会場到着次第、流れで始まりましたが、来賓が到着してから開会挨拶や、鏡開き、日本酒による乾杯など、酒どころ西条らしさがありました。しかし、後ろの方は誰も聞いていない状況で、大勢をまとめるのは難しいと感じました。

今後三次会場では課題が多数ありますので、お知恵を借りつつ万全の態勢で臨みたいと思いますので、ご協力をお願いします。

本会議の記念講演では、日本のワインを愛する会長の辰巳琢郎氏が「道草のすすめ」と題し、掛け合いのトークショー方式で講演が行われました。

地区大会テーマの【Enjoy】に合わせ、道草しながら何事もプラス思考に考え楽しもうとトークをされましたが、あまり面白くない期待外れの話でした。恐らく酒どころ東広島での講演のためワインの話は

控えていたのだと思いますが、会場からの質問でワインについて聞かれると専門的立場で日本のワインの良さを語ってくれました。

世界中で温暖化が進む中で、日本ワインメーカーも温暖な地域で栽培されているアルバリーニョやプティ・マンサンという品種に改植している点や日本のぶどう(特に山葡萄系)で日本独自のワインづくりに力を入れていることなどを語ってくれたほか、日本食に合わせるためにボディもライト化傾向にあるなど食との関係についても熱く語っていただきました。普段ロータリーのワイン会でも、私が話をしている点と同じでしたので、取り敢えず良かったなと思いました。

地区大会報告

村竹 昇



山縣会員と懇親会担当になっていますので、懇親会からいろいろ見させていただきました。前田ガバナーの時にカルチャーセンターでしましたが、雨で水たまりができて、総動員でスポンジなどで水たまりをきれいにしたのを覚えております。

今のところは2年後も会場はカルチャーセンターになっていますが、移動が大変だなと思います。きりりでの本会議後、きりりの駐車場をうまく使って懇親会もできれば移動しなくて済みます。今から皆さんのご意見もいただきながら考えないといけないと思います。

どこでもそうですが、本会議と懇親会を別会場でやるということは大変なことです。東広島で使っていた大型テントは100万や200万円ではできません。そういうことを考えればまだ時間があります。

次年度は宇部であります。懇親会はどこでやるのか聞いていませんが、いろいろと勉強しないとイケないなと思っております。

